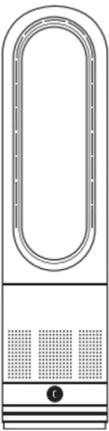


SunInn 羽なし冷暖扇風機取扱説明書

本製品を使用する前に、この取扱説明書をよくお読みになって、大切に保管してください。



品番 A M -018JR

- 使用前、電源コードとプラグが破損していないかどうかを確認する必要があります。電源コードが破損している場合は、危険を避けるために、ユーザー はご自分で電源コードを分解したり、交換したりしてはいけません。製造元の修理部などの専門業者によって交換する必要があります。
 - 本製品を使用する際は、焼灼を避けるため、露出した皮膚が排気口の表面に直接触れないようにしてください。
 - 乾燥した環境でのみお使いください。本製品は、浴槽、ノズル又はプールの周囲に使用しないでください。
 - プラグとコンセントの間に緩みが生じたり、プラグが熱くなった場合は、コンセントを交換する必要がある場合があります。コンセントを交換する資格のある電気技師に問い合わせます。
 - 本製品プラグの定格動作電流と一致している 3C 認定がある固定コンセントを使用しなければなりません。モバイル多用途コンセントの使用は禁止です。
 - 万が一不具合が生じた場合、ご遠慮なくメールに弊社のメールアドレスへお問い合わせください。24時間以内に対応しています。
- 問い合わせメールアドレス： SunInn@gmail.com。

9

6. お手入れ

- お手入れの際は必ずプラグを抜いて電源を切ってください。



お手入れの際には、本製品の表面を拭くために水をつけたり、水をかけたりしないでください。本体が短絡する原因になります。本製品の表面を拭くために、バナナ水、ガソリン、アルコール、漂白剤、又は金属製の物体を使用しないでください。表面が変色したり、本体に傷を付ける原因になります。

■ 物体の表面

本製品の表面を乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。表面が汚れている場合、中性洗剤を薄めて濡れた柔らかい布で拭き、きれいに拭いてから、乾いた柔らかい布で拭きます。

■ 給気口 排気口

柔らかいブラシや掃除機を使って、吸気口や排気口のほこりを掃除してください。ほこりが溜まりすぎると、使用に影響する可能性があるから、ほこりが少ないうちに掃除してください。

■ リモコン

乾いた柔らかい布でリモコンの表面を軽く拭いてください。長時間使用しない場合は、電池の消耗を防ぐようにリモコン内の電池を取り出してください。

■ 電源プラグ

乾いた柔らかい布で電源プラグを拭いてください。

■ 保管方法

本製品は手入れ後にビニール袋に入れて置くことができます。振動のある場所や冷暖房機能のある電化製品は避けてください。直射日光の当たるや高温多湿な場所に設置しないでください。子供の手の届かない場所に置いてください。

7

2. 機能の説明：

- 電源を入れるとブザーが 1 回鳴り、待機状態になり、デジタルディスプレイは黒画面の状態になります。

本体タッチボタン機能の説明：

- 待機状態では、タッチボタンを押すと冷風運転モードになり、電源プラグを抜かれた場合は風量「5」で運転開始します。
- 待機状態では、タッチボタンを押して電源を入れ、待機前段階の風量になります。
- 本体タッチボタンを押して風量を調節し、1～8 段の順次で変更します。
- 待機状態では、タッチボタンを 1 秒間長押しして温風運転モードに入り、温風モードで、デジタル管の数字表示が点滅します。
- 温風モードでは、タッチボタンを押して、温風風量を調節し、1～3 段の順次で変更します。
- 運転モードでは、タッチボタンを長押しすると電源が切れます。温風モードでは、発熱管の放熱のために 30 秒間、低速回転で運転し続けます。

注意！暖房モードでは、電源コードを抜かないでください。

自動オフ表示機能：

- 運転状態では、何の操作もない場合、30 秒後自動的に表示がオフになります。転倒保護
- 暖房モードでは、本体が転倒すると、自動的に暖房機能がオフになります。
- 冷風モードでは、転倒の影響はありません。

2

切 / 入

- 待機状態では、切 / 入ボタンを押して冷風運転モードになり、再び切 / 入ボタンを押して待機状態になります。
- 待機状態では、切 / 入ボタンを押して冷風運転モードになります。電源プラグを抜かれた場合は風量「5」で運転開始します。電源プラグを差し込む場合は待機前の風量で運転開始します。

白色 +

- 1～8 段の冷風運行速度を調節します。温風モードでは、このボタンは無効になります。

赤色 +

- 1～3 段の温風運行速度を調節します。冷風モードでは、このボタンは無効になります。

ミュート

- 1 回押すとブザーがオフになり、もう一度押すとブザーがオンになります。

冷風

- 温風モードでは、冷風ボタンを押して冷風モードに切り変えます。この場合、白色 ++ ボタンで風量を調節できます。

温風

- 冷風モードでは、温風ボタンを押して温風モードに切り変えます。温風モードでは、デジタルディスプレイの数字が点滅する場合、赤色 ++ ボタンで風量を調節できます。

首振り

- 製品運転中、1 回押すと首振りオンになり、もう 1 回押すと首振りオフになります。

タイマー

- このボタンを押すとタイマーモードになり、0～9 時間順次設定、0 はタイマーを解除します。デジタルディスプレイの左上にある小さなポイントの点滅は、タイマー状態を表示します。

強風

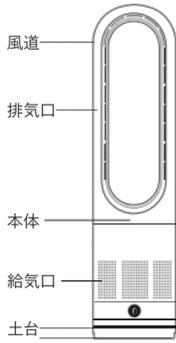
- 強風モードになり、風量が最強になり、デジタルディスプレイが H を表示します。

微風

- 微風モードに入り、風量が少なくなり、デジタルディスプレイが L を表示します。

4

1. 製品概要

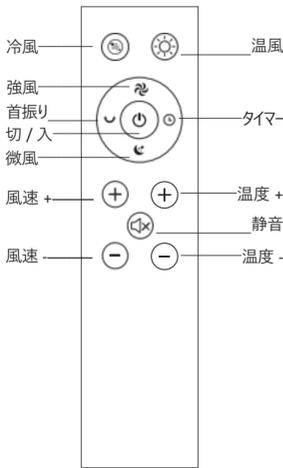


基本パラメータ

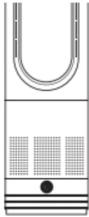
製品名：	羽なし冷暖扇風機		
冷風最高回転速度：	5800rpm	温風最高回転速度：	5600rpm
タイマー：	0～9 時間	冷風定格電力：	20-40W
定格電圧：	100V 50/60Hz	温風定格消費電力：	1000W
首振り角度：	80°		

1

3. リモコン操作の説明



3



リモコンを操作する場合、最適なリモコン信号を得るためには、ディスプレイの受信部とリモコンの送信部を合わせる必要があります。

注意

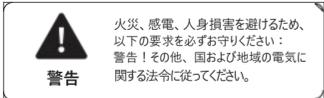
- 操作中、以下の現象が発生する可能性があります。これはリモコンの周波数が重なって発生する現象であり、製品自体品質の問題ではありません。誤操作を避けるため、他の電気機器から距離を保ってリモコンを操作してください。
- 他の電化製品のリモコンを使用するとき、本製品が反応しない可能性があります。
- 本製品のリモコンを使用するとき、他の電化製品が反応する可能性があります。
- リモコンの切 / 入ボタンや本体電源ボタンは、電源が完全に切れることができません。長期間使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。

4. 設置場所と注意事項

- 破損や故障の原因となりますので、本製品を平らな場所又は傾斜のある柔らかい場所に置いて使用してください。傾斜があるなど不安定な場所に置かないでください。高温多湿な場所（バスルーム、キッチンなど）で使用しないでください。
- 使用中、給気口を塞がなく、本体が正常に運転するように、カーテンから遠い場所で本製品を使用してください。
- 排気口前から 1メートル以内に物を置かないでください。そうすると送風効果が低下します。

5

7. 安全上のご注意



- 本製品は屋内用には適しており、屋外用には適していません。
- 非専門業者又は無資格修理者は、無断修理・改造禁止。
- 電源プラグをコンセントに差し込む前に、本製品の定格電圧が自宅の電圧と一致していることを確認してください。
- 本体が通常使用されているとき又は使用されていないときは火元及び火種から 1.5メートル以上の距離を保ち、かつ直射日光を避けること。
- 燃えやすく、爆発しやすく、熱によって変形、変色、変質しやすい物体の近くでの使用や、粉塵がひどい場所での使用を禁止すること。
- 落下しやすい物がある場所での使用、衝撃を受けやすい場所や不安定な場所での使用を禁止すること。
- 電源ボタンに代わって電源プラグの差し込み（抜き）で本製品の開閉を制御することを禁止すること。
- 本機を動植物の保温、加熱設備として使用することを禁止すること。
- 過熱を避けるため、加熱器を置くことを禁止すること。
- 感電事故を起こさないように、細い金属線やその他の異物を機内の穴に挿入することを禁止すること。
- 本製品が落下したり、著しく損傷した場合は、使用しないでください。
- 本製品を水に浸すことを禁止すること。
- 本製品をコンセントに向けたり、コンセントの下に置いたりして使用することを禁止すること。
- 他の大電力機器とコンセントを共有することを禁止、電源コードを直接引いて機体を移動することを禁止すること。
- 機器を覆ったり誤って設置したりすると火災の危険があるため、自動的に電源を入れるプラグラマ、タイマー、その他の装置を使用することを禁止すること。
- 本製品を使用する場合、電源コードは机体の後ろに置くものとし、机体の前に置くと過熱して破損したり、安全事故を起こしたりする可能性があります。
- 子供、自立生活ができない高齢者又は患者は、事故を防ぐために、成年者の看護下で本製品を使用してください。
- 本製品に故障が発生した場合、すぐに電源を切り、電源プラグを抜いてください。製造元の修理部などの専門業者によって修理を行う必要があります。

8

5. 電池の入れ方とトラブルシューティング

八、リモコンを使用する前

リモコンに電池を入れてから使します。

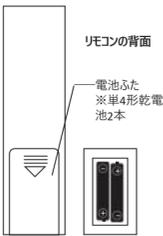
電池の入れ方

- ① リモコン電池のふたを開けます。
- ② 新しい AAA（単 4 形）乾電池を 2 本入れます。
- ③ リモコンの電池のふたを閉めます。

注意：この電池は充電しないでください。子供の手の届かない場所に置いて、飲み込んだ場合は速やかに医師の診断を受けてください。

注意：電池の「+」を正しく入れてください

※長時間リモコンを使用しない場合は、電池を抜いてください。使用済み電池は、現地の法令又は規則に従って廃棄してください。



トラブルシューティング

故障状況	原因分析
電源を入れても運転しない	プラグをコンセントに正しく差し込んでいますか？

リモコンは運転しない

電池が切れていませんか。電池を正しい向きで入れていますか。リモコンは本体受信部に向きますか？

- 故障が発生して上記の方法で対処できない場合、直ちにカスタマーサービスに連絡してください。ご自分で分解、修理、設置を行わないでください。

6